

## 出席機能変更点 (WebClass Ver11.8.0)

WebClass バージョン 11.8.0 より WebClass の出席機能の仕様が変更されます。

主な変更点は以下になります。

- ・授業コマの作成方法 (カレンダーより授業日を選択する方式)
- ・出席状況一覧画面での出席ステータス表示 (従来はスコア表示) ※ 1
- ・出席データの修正画面の移動
- ・出席データの修正履歴画面の移動
- ・出席データ CSV 一括修正時にコメントを記入可能
- ・「≫ 出席一覧のダウンロード」での CSV ファイル名にコース名を付与

### 1. 授業コマの作成から設定変更

#### 1-1 授業コマの作成

出席用の授業コマを作成する際は、授業日をカレンダーより選択し、授業の開始時間、出席扱い、遅刻扱いの時間(分)、を選択し、必要出席数を設定します。

出席基本設定

授業日  公開しない

📅 カレンダーから授業日を選択してください

開始日時 9時 30分 出席扱い 開始後 5 分間 遅刻扱い その後 5 分間 必要出席数 8回

授業コマを作成する

カレンダーから選択した日付が、授業日の欄に並びます。

カレンダーのボタンで[授業コマを作成する]ボタンでコマが作成されます。

出席基本設定

授業日  公開しない

📅 01/08(水), 01/15(水), 01/22(水), 01/29(水), 02/05(水), 02/12(水), 02/19(水), 02/26(水), 03/04(水), 03/11(水), 03/18(水)

開始日時 9時 30分 出席扱い 開始後 5 分間 遅刻扱い その後 5 分間 必要出席数 8回

授業コマを作成する

授業日を選択して[授業コマを作成する]ボタンをクリックしてください

※[公開しない]にチェックを入れてコマを作成すると、非公開の状態(学生が操作出来ない状態)でコマが作成されます。主に授業の時間が未確定の際や学生自身による出席操作を行わない授業のケース(教員がまとめて出席データを入力するケース)の際にご利用ください。

#### ・授業コマ名について

従来は作成した授業コマのタイトルは、「出欠確認 第\*週」として作成されましたが、今バージョンからは、設定された授業日が授業コマ名となる仕様に変更されます。

例>「2020/01/08 出席確認」

### 1-2 授業コマ作成後の一覧画面

授業コマ一覧								各コマ情報を更新する	削除する
<input type="checkbox"/>	回	授業コマ	パスワード	IPアドレス制限	開始 - 終了時刻	状態	編集	履歴	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2020/01/08 出席確認	<input type="text"/>	<input type="text"/>	出席扱い：2020/01/08 09:30 - 09:34 遅刻扱い：2020/01/08 09:35 - 09:39 欠席扱い：2020/01/08 09:40 -	公開中 変更する	[編集]	履歴[0]	
<input type="checkbox"/>	2	2020/01/15 出席確認	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2020年 1月 15日 9時 30分 から 出席扱い：開始後 5 分間 遅刻扱い：その後 5 分間	非公開中 公開する <input checked="" type="checkbox"/> 現在時刻から	[編集]	履歴[0]	

#### ・各授業コマの日時変更

各コマにある[変更する]ボタンで公開状態から非公開になり、開始日時と出席と遅刻扱いの時間の変更が可能となります。設定変更後、[公開する]ボタンで変更した内容が保存され、公開状態となり、学生が指定された時間に操作出来る状態となります。

開始日時の日付を変更して保存した場合は、授業コマのタイトルの日付が自動で更新され、日付時間順に授業コマがソートされます。同日に複数コマが存在する場合は、開始時間順にコマのタイトルの後ろに数字が付与されます。

例>「2020/01/08 出席確認 2」「2020/01/08 出席確認 3」

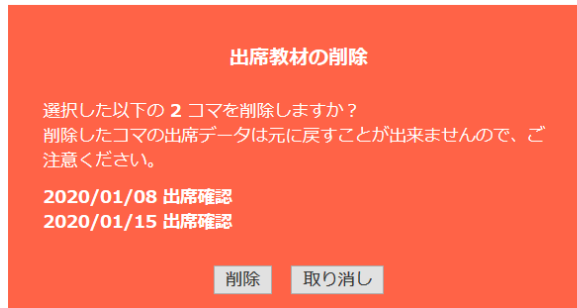
#### ・現在時刻から公開

現在時刻からご利用の際は、「現在時刻から」にチェックを入れ公開すると日時の設定を変更せずにご利用できます。

#### ・授業コマの削除

削除したいコマを左端のチェックボックスから選択し、[削除する]ボタンで削除画面へ遷移します。

削除確認画面で、[削除する]ボタンを押すと選択したコマが削除されます。



### 1-3 授業コマのタイトルについて

従来の仕様ではコマのタイトルは自由に変更出来ましたが、今バージョンより設定した日付で自動更新されるため、タイトルの変更が不可となります。

テスト/アンケート オプション設定

タイトルを入力し、下にある操作ボタンをクリックしてください。

- ※ レポート課題を作成する場合は「種別」から「レポート」を選択してください。なお、自習用や試験教材でも問題編集ができます。
- ※ 種別で「レポート」を選択すると自動的に「回答の見直しを許可」オプションが選択されます。
- ※ 説明/注意点は、教材を開始するときに説明として表示されます。

基本設定

ラベル ?

(必須) タイトル ?

### 2. 出席状況一覧画面での出席ステータス表示

従来は出席状況一覧画面のヘッダ部分にコマのタイトル名が表示されていましたが、今バージョンよりコマに設定されている日付が表示される仕様となります。

また出席データの結果は点数で表示されていましたが、今バージョンより点数では無く、出席ステータスの文字が表示されます。

表示されるステータスは、出席(出)、欠席(欠)、遅刻(遅)、未操作(-) となります。

※ ( )内の文字が表示されます。

出席状況一覧 - ネットワーク講習会(デモ)

ユーザID  再表示 ワイルドカード \* 任意の一文字? で指定。複数の条件は or で連結。

» 出席一覧のダウンロード

Mail	氏名	ユーザID 数字部分	01/08	01/15	01/22	01/29	02/05	02/12	02/19	02/26	03/04	03/11	出席回数	遅刻回数	欠席回数
			▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼			
<input checked="" type="checkbox"/>	出席		3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7		
	遅刻		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	
	欠席		0	0	1	3	3	3	3	3	3	3			22
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user001	user001	出	出	出	-	-	-	-	-	-	-	3	0	7
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user002	user002	出	遅	出	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user003	user003	出	出	欠	-	-	-	-	-	-	-	2	0	8

### ・出席データの修正について

従来は各出席データを選択して個別に修正する仕様でしたが、今バージョンよりコマのタイトル(日付部分)より、修正画面へ遷移して出席データを修正する流れとなります。

### ・「» 出席一覧のダウンロード」での CSV ファイル名について

コース名がファイル名の先頭に付与されます。

例> ネットワーク講習会(デモ)\_attendance.csv

## 3. 出席データ修正画面

出席データ修正 - ネットワーク講習会(デモ) - 2020/01/08 出席確認

[出席状況一覧へ戻る](#)  
[出席データCSV一括修正へ](#)

ユーザID  再表示 ワイルドカード \* 任意の一文字? で指定。複数の条件は or で連結。

出席データを修正する

Mail	氏名	ユーザID 数字部分	学籍番号	2020/01/08 出席確認 ▲▼	出席ステータス ステータス一括設定 ▼	修正理由 コメント	修正履歴
<input type="checkbox"/>	名前user001	user001	gaku001	出席	<input checked="" type="radio"/> 出席 <input type="radio"/> 欠席 <input type="radio"/> 遅刻	選択して下さい	<a href="#">履歴</a>
<input type="checkbox"/>	名前user002	user002		欠席	<input type="radio"/> 出席 <input checked="" type="radio"/> 欠席 <input type="radio"/> 遅刻	選択して下さい	<a href="#">履歴</a>
<input type="checkbox"/>	名前user003	user003		-	<input type="radio"/> 出席 <input type="radio"/> 欠席 <input type="radio"/> 遅刻	選択して下さい	<a href="#">履歴</a>

出席データを修正する

[ページTOP](#)

CSV一括修正  選択されていません

[出席状況一覧へ戻る](#)

### ・出席データの修正

出席ステータスより、3つのステータス（出席、欠席、遅刻）から選択し、「出席データを修正する」ボタンで修正が可能です。修正理由のデフォルトは「選択して下さい」となっており、この状態になっているユーザの出席データは、修正されません。

3つのステータス何れかを選択した時点で、自動で該当する理由が選択されます。その他の理由に該当する際やコメントを付与する際は、出席ステータス選択後に変更、記入してください。変更した修正履歴は、「履歴」リンクより確認が可能です。

### ・ステータス一括設定

ユーザ数が多い場合などに出席ステータスを個別に選択する作業を省くため、一括で出席ステータスを選択する機能になります。（選択のみで修正まではされません）

「全て出席にする」「未回答を全て出席にする」「未回答を全て欠席にする」があり、何れかを選択すると実行するかの確認画面が表示されます。実行すると選択が切り替わります。

### ・出席データの CSV 一括修正

出席データを CSV ファイルより一括修正が可能です。

ページ下部に表示されるため、表示されていない場合は、画面右上の「出席データ CSV 一括修正へ」より遷移し、「一括読み込み用 CSV ファイル」より、修正用の CSV ファイルをダウンロードします。

CSV ファイル上で設定可能な値は、従来の「0～10」および「出席」「出」「欠席」「欠」「遅刻」「遅」「未」「-」となります。

また今バージョンより CSV の comment 列に各コメントを記入すると、修正履歴画面で確認が可能となります。

「一括読み込み用 CSV」例→

	A	B	C	D
1	username	user_id	point	comment
2	ユーザ01	user01	出席	
3	ユーザ02	user02	欠	
4	ユーザ03	user03	遅刻	
5	ユーザ04	user04	0	
6	ユーザ05	user05	10	

一括読み込み用 CSV 反映後→

Mail	氏名	ユーザID 数字部分	04/13	04/20	出席回数	遅刻回数	欠席回数
			▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼
<input checked="" type="checkbox"/>		出席	2	0	2		
		遅刻	1	0		1	
		欠席	2	3			5
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ01	user01	出	—	1		
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ02	user02	欠	—			1
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ03	user03	遅	—		1	
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ04	user04	欠	—			1
<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザ05	user05	出	—	1		

#### 4. 出席データ修正履歴画面

修正履歴画面では、画面上での修正、CSVによる一括修正の履歴一覧が表示されます。  
コメントを記入して修正した際は、コメント欄に表示されます。

##### 名前user001 (user001) 修正履歴

修正履歴 : 3	
修正日時	2020/01/23 21:44:28
コメント	遅刻により：遅延のため遅刻です。
修正前のステータス	出席
修正後のステータス	遅刻
修正者のID	author
修正者の氏名	鈴木 先生
IPアドレス	192.168.2.8

修正履歴 : 2	
修正日時	2020/01/23 21:31:41
コメント	CSVファイルによる一括登録
修正前のステータス	出席
修正後のステータス	出席
修正者のID	author
修正者の氏名	鈴木 先生
IPアドレス	192.168.2.8

以上